

平成26年度 総合研究センター 普及啓発事業 開催結果

美ら海自然教室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
1 サンゴ礁の生きもの観察	5月17日	総合研究センター 視聴覚室	22	視聴覚室にて、観察時のコツやポイント、注意事項についての説明を行った後、備瀬海岸のサンゴ岩礁地帯に移動して野外観察を行い、そこに棲む生物や自然環境を学習した。観察終了後に、再び視聴覚室に移動し、受講証の配布およびアンケートの記入等を行った。
2 魚の赤ちゃんの世界	6月28日	総合研究センター 視聴覚室	19	スライドを用いて、仔魚魚の形態や生態の特徴などについての解説をした後、顕微鏡やルーペを用いて仔魚魚の観察を行った。教室終了後には希望者を対象に、仔魚魚の調査・研究で行われる集魚灯採集の見学を行った。
3 海藻藻場の生きもの観察	7月26日	総合研究センター 視聴覚室	17	視聴覚室にて、観察時のコツやポイント、注意事項についての説明をした後、備瀬海岸の海藻藻場に野外観察を行い、そこに棲む生物や自然環境を学習した。観察終了後に、研究センター視聴覚室に移動し、受講証の配布およびアンケートの記入等を行った。
4 水族館の秘密を探る	11月29日	総合研究センター 視聴覚室	26	水族館の歴史、施設や設備などについて、スライドやテキストを用いて解説した。その後、ペットボトルや塩ビパイプを利用したろ過装置の作製と水質検査のデモンストレーションを行った。
5 魚の解剖	1月10日	総合研究センター 視聴覚室	26	スライドや標本を用いて、魚類の体の構造やその機能について解説した。また、参加者それぞれが魚類の解剖を行い、内部構造についての観察、学習を行った。
6 サンゴ礁の観察	3月7日	総合研究センター 視聴覚室	19	視聴覚室にて、観察時のコツやポイント、注意事項についての説明を行った後、備瀬海岸のサンゴ岩礁地帯に移動して野外観察を行い、そこに棲む生物や自然環境を学習した。観察終了後に、再び視聴覚室に移動し、アンケートの記入等を行った。

(計) 129

美ら島自然教室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
7 シロアリたちの秘密を探る	7月5日	総合研究センター 視聴覚室	20	杉原幸司氏(琉球大学教育学部)を講師として招聘し、スライドやテキストを用いて、シロアリの形態や生態について解説した。次に、標本や生体の形態観察した後、油性ボールペンを使った行動実験の観察を行った。
8 沖縄の川の水のいきものを源流川でさがしてみよう	8月23日-24日	沖縄県立名護青少年の家、名護市源流川	14	沖縄の淡水生物における貴重性や外来種問題などについて、講義や野外観察を通じて学習した。初日に、沖縄の川やそこに生息する生き物の特徴、川における事故の説明や観察時の留意点についての解説を行った。その後、沖縄県立名護青少年の家の施設を利用し、野外炊飯と宿泊を行った。2日目に名護市源流川にて生物と自然環境の観察を行った。
9 植物の秘密を探る	9月6日	総合研究センター 視聴覚室	26	スライドやホワイトボード、植物生体を用いて、湿地の環境や生物多様性、水辺に生息する植物について解説した。

(計) 60

美ら島・美ら海子ども工作室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
10 マイうちわやクバおきをつくらう	8月16日	総合研究センター 視聴覚室	10	スライドを用いて、うちわやクバおきなどの作品の紹介と、それぞれの作り方の手順や材料、注意事項について解説した。次に、うちわの絵付けや、事前に準備したクバなどの植物の葉を利用した扇やうちわを作製した。
11 竹や小枝で昆虫をつくらう	10月4日	総合研究センター 視聴覚室	15	スライドを用いて、作品の紹介とそれぞれの作り方の手順や材料、注意事項について解説した。次に、図鑑を用いてクワガタ、カブトムシ、バッタなどの昆虫の形態的特徴を学び、竹や小枝を使用してその特徴を捉えた玩具を作製した。
12 琉球張り子の絵付けをしよう	12月19日	総合研究センター 視聴覚室	18	スライドを用いて、琉球張り子の歴史や作品の紹介と、ジンベツメ、ウミガメ、鳩、起き上がり小法師の作製手順や材料などについて解説した。次に、事前に下地を塗って準備した張り子に絵付けを行った。

(計) 43

一般向け講習会・講演会 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
13 天然記念物シリーズ講演⑨「リュウキュウキンバトとカラスバトとアカヒガ」	5月10日	沖縄県立名護青少年の家	52	瀧原建二氏(沖縄県立桜野特別支援学校)を講師として招聘し、沖縄の鳥類相を始め、天然記念物であるリュウキュウキンバト、カラスバト、アカヒガの特徴や保護の現状について、スライドや剥製を用いて講演を行った。
14 天然記念物シリーズ講演⑩「ケラマジカ」	6月21日	沖縄県立名護青少年の家	20	城間恒宏氏(沖縄県教育庁文化財課)を講師として招聘し、国指定天然記念物であるケラマジカの形態や生態などの特徴や人々との関わりについて、スライドや標本を用いて講演を行った。
15 天然記念物シリーズ講演⑪「キノノコトカグとサワヘビ・トカゲモドキたち」	7月12日	沖縄県立名護青少年の家	28	当山昌直氏(沖縄国際大学 南島文化研究所)を講師として招聘し、国指定天然記念物であるキノノコトカグや県指定のサワヘビ、トカゲモドキについて、スライドを用いて講演を行った。
16 沖縄の花・緑コーディネーター研修 (講座1) 植物と栽培の基礎知識	8月16日	総合研究センター 視聴覚室 研究第二課 佐藤裕之	12	「植物と栽培の基礎知識」とのタイトルで、植物の性質や分類、固形別の特徴や特性の紹介をキーワードでまとめた簡潔な資料や色々と視点(光合成を「自然界でのしごと」、植物の体、植物の体の中、花の構造、種の構造、媒質の量と分類、人とのかわり、植物の素直らしさを伝える必要条件、上手に育てる3カ条等)から紹介をスライドで行った。さらに講座の途中に見本の紹介を直接手に取っていただいた特徴観察やおすすめ書籍等の紹介を行って、受講者からは大変好評であった。
17 沖縄の花・緑コーディネーター研修 (講座2) 沖縄に生育する熱帯・亜熱帯性植物について	11月9日	総合研究センター 視聴覚室 研究第二課 宮里政智	8	「沖縄に生育する熱帯・亜熱帯性植物について」の講義と、「クロンを用いた取り木」の実習を実施。講義は沖縄の亜熱帯性気候の特徴と代表的な土壌の性質、沖縄の植生の特徴について、酸性土壌地、浜地、琉球石灰岩(海岸)、砂浜、石灰岩地帯、マングローブ林等に生育する植物を紹介。さらに沖縄に導入されている熱帯・亜熱帯花木、つる性植物の紹介と、植物の繁殖方法、取木と接木の方法等について分かりやすく講義していただいた。実習では受講生全員が取り木を行った。
18 沖縄の花・緑コーディネーター研修 (講座3) 琉球の植物たち	12月7日	総合研究センター 視聴覚室 研究第二課 阿部直志	11	「琉球の植物たち」とのタイトルで、沖縄をとりまく地史・気候・島嶼の環境をはじめ、様々な生態系(砂浜、海岸、低地、浜沿い、山地等)で生育する多様な植物の紹介、分布の特徴(固有・隔離・北限・南限)のある植物、沖縄の絶滅危惧植物、新産地と新種等をスライドで紹介した。さらに講座の最後には、野生植物に実際に触れる機会をつくり、海浜や淡水帯の植物の特徴や腐生植物についての復習を行った。受講者からは大変好評であった。その他には沖縄の野生植物に関連する図書紹介も行った。
19 沖縄の花・緑コーディネーター研修 (講座4) 花と緑の街づくりについて学ぼう	3月22日	総合研究センター 視聴覚室 経営企画課 西銘直孝	11	「花と緑の街づくりについて学ぼう」と題し、沖縄県内、国内外の緑化事例や、地域緑化を行う上で重要な点について紹介した。また、沖縄県の施策(緑のまちづくり行動計画)も紹介することにより、地域緑化が沖縄の観光産業に大きく貢献していることを説明した。講演会後は修了生に対する認定カードの進呈と、自由意見交換会を行い、今後の花緑コーディネーターのあり方について意見交換を行った。
20 深海ザメのすべて	8月17日	総合研究センター 視聴覚室	29	スライドを用いて深海ザメの種類や形態・生態的特徴などについて解説した。その後、サメ類の標本を用いた解説や、ツメザメなどの解剖を交えた解説を行った。また、当財団の調査・研究で得た成果を紹介することで、研究センターならではの内容で講演会を行った。
21 海洋文化館グランドオープン1周年記念講演会	10月25日～26日	海洋文化館展示ホール	72	海洋文化館グランドオープン時のアドバイザーとして監修を行った南山大学人文学部後藤明教授による講演会を行った。講演では、海洋文化館の歴史や失われつつあったカヌー制作技術の復興、展示品の収集にまつわる逸話、展示物がどのような検証を重ねたものかなどについて紹介した。2日間合計3回の講演を行った。
22	10月25日		16	沖縄の伝統的な玩具である「琉球張り子」の特徴や歴史等を学び、実際に作製した。全5回の連続講座で、土型から絵付けまでの全工程を行った。
23	11月15日		15	
24 琉球玩具への招待	11月29日	百里城公園管理センター 会議室	12	
25	12月7日		12	
26	12月14日		17	

27	魚のオスとメスはどうやって決まるのか	11月22日	総合研究センター 視聴覚室	10	スライドを用いて、魚類の性決定の仕組みについて解説した。スライドを使用した。次に、ティラピア生体の解剖や観察、顕微鏡を用いた生殖器官の観察や、トラザメの稚魚(生体)の観察を行った。
28	ウミガメに関する講演会①	12月6日	総合研究センター 視聴覚室	26	スライドを用いてウミガメの形態や生態に関する解説を行った。次に、写真を用いたウミガメの個体識別や生体観察を行った。最後にウミガメを取り巻く環境問題に関する解説を行った。子どもから大人を対象として実施した。
29	亜熱帯性植物に関する調査研究・技術開発研究会	2月21日	総合研究センター 視聴覚室	36	助成研究者を招聘し研究発表を行うことで、研究方法・成果の共有、情報交換、今後の調査研究・普及啓発事業の効果的・効率的実施にむけた技術向上を図った。
30	亜熱帯性動物に関する調査研究・技術開発研究会	2月21日	総合研究センター 視聴覚室	25	助成研究者を招聘し研究発表を行うことで、研究方法・成果の共有、情報交換、今後の調査研究・普及啓発事業の効果的・効率的実施にむけた技術向上を図った。
31	ウミガメに関する講演会② ～繁殖メカニズムの謎を解く～	2月28日	総合研究センター 視聴覚室	26	当財団の調査・研究で得た成果を交えて、ウミガメの繁殖生態、繁殖サイクルを解説し、総合研究センターが行う調査研究「人工授精技術」の紹介を行った。ウミガメの基本的な知見について解説した「ウミガメに関する講演会①」よりも専門性の高い内容で実施した。
32	サンゴ礁における多様共存の成り立ち	3月1日	総合研究センター 視聴覚室	24	スライドを用いて、サンゴ礁でみられる様み込み連鎖やサンゴの移植事例・環境問題についての解説を行った。講師の長年の調査研究による知見等に基づいて、サンゴ礁の生物多様性を支える「様み込み連鎖」とは何か、どのようにして成り立っているのか、そして人々の生活と自然環境との関わり方をテーマに講演が行われた。

(計) 462

専門家向け講習会・講演会 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
33 研究者交流座談会「軟骨魚類の生理学・繁殖学研究～諸課題とその克服にむけて」	6月14日	沖縄県立名護青少年の家	31	研究者・水族館職員が互いに情報を共有し、材料と技術の相互補完を行うことによって、新たな研究課題へのアプローチを模索するための研究会を開催した。
34 沖縄サトウクワラ会議2014〜ウォッチングを活かせる解情報〜	12月8日	沖縄県トラック協会 沖縄美ら海水族館 宮原弘和・研究第一課 岡部晴菜	54	当財団の船舶の野外調査や飼育を通して得られた情報を県内のホエールウォッチング事業者を紹介し、ホエールウォッチングにおける内容の質向上に役立てていただくために、講演会とパネルディスカッションを開催した。「サトウクワラの繁殖時期に関する報告/船舶の種別別法」岡部晴菜(研究第一課)、「ホエールウォッチングの会的効果とその楽しみ方」宮原弘和(沖縄美ら海水族館)
35 サンゴシンポジウム⑧ ～砂礫泥底におけるサンゴの移植とサンゴ群集の特徴～	12月4日	総合研究センター 視聴覚室	84	基調講演2題【鈴木 豪 氏(独)水産総合研究センター)、藤原秀一氏(いであ株式会社)】、事例報告7題【中野義勝氏(琉球大熱帯生物圏研究センター)、山本広美氏(美ら島研究センター)、岩瀬寛啓氏(いであ株式会社)、酒井一彦氏(琉球大熱帯生物圏研究センター)、山里祥二氏(NPO法人ユースフル沖縄)、比嘉義規氏(恩納村漁協)、上原直氏(NPO法人グローイングコアフル)】の発表があり、最後に沖縄熱帯海洋深層水研究所の鹿原信一館長の司会による総論討論を行った。また、展示では6団体からのポスター等の展示があった。
36 沖縄魚類研究交流会	2月28日～3月1日	沖縄県立名護青少年の家	38	県内魚類研究者の情報共有、相互補完による研究活動の促進・発展を目的として、県内各機関に参加を呼びかけ、学会形式の発表を中心とした交流会を開催した。大学、自治体、民間等の各方面から、分類、生態、遺伝、普及活動等の様々な話題提供があった。このような交流の場を望んでいた研究者も多く、以降の継続的開催を期待する声も多かった。
37 サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定2015」	3月19日～22日	総合研究センター 視聴覚室	19	迅速サンゴ類の属レベルの分類と同定技術を習得することを目的に、日本に分布する79属中78属の骨格標本(およそ1300点)とテキスト、スライドを用いて、各属の骨格の形態的特徴や同定する際の着眼点について学習した。また、同定スキルを自己評価するためにテストを2回行った。全講座終了後に、受講証を授与した。

(計) 226

外部普及啓発イベントへの出展結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	目的及び内容
38 夏休み子ども自由研究in沖縄コンベンションセンター2014	8月2日～3日	沖縄コンベンションセンター	230 (工作体験者数)	総合研究センターの事業から、夏休み自由研究のヒントになる素材を展示・解説した。また海洋博公園及び首里城公園、当財団が指定管理する名護青少年の家が開催する夏休みイベントについても自由研究素材として活用できることを紹介した。工作教室では、小学生以上の親子を対象に「サンゴの型取り染め」「植物の型押し染め」「草玩具作り」「首里城の塗り絵」「琉球のお面づくり」の工作教室を開催した。来場者数約30,000人
39 海辺の環境教育フォーラム	11月15日～16日	沖縄大学	—	海に関係する環境教育に携わる団体や市民を主な参加対象とし、各団体による環境教育の取り組み等をポスターセッション(1日目)や一般公開イベント(2日目)を通して紹介した。当財団からは、ポスターセッションの発表を2題(「調査研究成果を多くの人に伝える」研究第一課・山本、「地域と連携した環境学習」普及開発課・前田)、一般公開イベントとして、海の動物の解説パネル、標本、生態展示などを行った。ポスターセッションの参加者160名、一般公開イベントの参加者1,000名。

(計) 230

やんばる環境学習 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	目的及び内容
川の生き物について(総合学習)	40	真喜屋小学校 研究第一課 岡慎一郎	17	自然を大切に育てる心育てを育ててキャリア教育の充実につなげることを目的に、名護市源河川での生き物採集体験(1回)、親子レクリエーションにて実施)や地域の川の環境についての学習会(3回)を実施した。
	41	真喜屋小学校 研究第一課 岡慎一郎	17	2回目:地元の琉球アユについての解説
	42	真喜屋小学校 研究第一課 岡慎一郎	17	3回目:川で安全に遊ぶ方法についての解説
	43	真喜屋小学校・源河川 研究第一課 岡慎一郎	17	4回目:現地観察会
ウミガメ、イノリの生き物、砂浜と有孔虫について	44	緑風学園 普及開発課 前田・永田・鈴木	15	ウミガメの生態や形態などに関する解説、イノリの地形やそこに生息する生き物について解説を行った。併せて、アカウミガメとオウミガメの幼体を用いた種別別法の確認、形態観察、行動観察を行った。
	45	緑風学園 普及開発課 前田・永田・鈴木	15	嘉陽海岸の生き物観察、ウミガメの産卵場所の観察や産卵の疑似体験を行った。
	46	緑風学園 普及開発課 前田・鈴木	15	ウミガメ成体の展示施設を見学し、5月に観察した幼体との比較を行った。また、仔ガメ飼育予備種で飼育体験(仔ガメの甲羅磨き、給餌)を行った。
	47	緑風学園 普及開発課 前田・鈴木	15	班ごとに学習テーマを設定し、調べ学習や野外観察を実施した。また、嘉陽区の住民からウミガメの産卵回数や砂浜の変化について話を伺った。
	48	緑風学園 普及開発課 前田・鈴木	15	沖縄県におけるウミガメの産卵状況、野外調査結果や野生個体の保護、環境問題などに関する解説を行った。
	49	緑風学園 普及開発課 前田・永田・鈴木	15	ウミガメの生態や形態、沖縄県における産卵状況、野外調査結果や野生個体の保護、環境問題などに関する解説を行った。併せて、イノリの地形やそこに生息する生き物について解説を行った。
	50	緑風学園 普及開発課 前田・鈴木	15	班ごとに調べたことを新聞にまとめ、発表会を行った。
51	緑風学園 普及開発課 前田・鈴木	15	班ごとに調べたことを新聞にまとめ、発表会を行った。	
52	名護小学校 普及開発課 前田・鈴木	132	リクガメと比較することから開始し、形態の違いについて考えさせた。沖縄で産卵する3種の紹介と、産卵・孵化・回遊に関する解説を行った。「日本の砂浜がなくなったらどうなると思う?」という質問を出し、宿題とした。	
53	ウミガメについて 名護小学校 普及開発課 前田・鈴木	132	ウミガメ3種を見分けることを目標に、アカウミガメとオウミガメ幼体を用いて形態観察を行った。(クラス単位で実施、45分授業×4クラス)	
54	名護小学校 普及開発課 前田・鈴木	132	前2回の解説を振り返りながら、ウミガメ飼育員の仕事内容を解説した。産卵調査やストラディンク調査、野生個体の保護事例を紹介した。最後に、第1回の学習で出していた宿題「日本の砂浜がなくなったらどうなると思う?」について、意見発表を行った。	

(計) 584

講師派遣・受け入れ事業 開催結果

事業名称	実施日	会場・派遣者	参加人数	内容
55 「石垣市海洋ゼミナール」における講演	4月14日	石垣市健康福祉センター 研究第一課 戸田 実	15	石垣市海洋ゼミナールにて、「八重山に水族館ができれば」というテーマで講演を行った。
56 真喜屋小学校児童に対する環境学習会における講演	4月28日	海洋博公園美ら海プラザ 普及開発課 前田・鈴木	59	ウミガメの生態や形態についての講演を行った後、幼体の形態観察を行った。
57 義肢装具実習における講演	5月1日	神戸国際大学 研究第一課 植田 啓一	80	世界初のイルカに対する人工尾びれ開発からリハビリ実施までの過程について講演した。
58 名護小学校イノー観察会 事前学習会	5月8日	名護小学校 経営企画課 伊芸、 普及開発課 永田・鈴木	136	スライドを用いてイノーで見られる生き物の特徴を紹介し、観察のポイントや注意等を解説した後、危険生物の標本観察を行った。
59 「ラン栽培講習会」における講演	5月11日	那覇市緑化センター 研究第二課 宮里 政智	34	ラン栽培講習会にて、ラン栽培に関する講演と実践を行った。
60 やまびこ久辺保育園に対するウミガメ学習会	5月15日	海洋博公園美ら海プラザ・ウミガメ館 普及開発課 前田好美	13	ウミガメの生態や形態についての講演と幼体の形態観察を行った後、ウミガメ館にて成体の観察を行った。
61 名護小学校イノー観察会	5月29日	本部町備瀬崎地先の海岸 経営企画課 伊芸、他11名	136	5月8日に実施した事前学習を踏まえて備瀬イノーにて野外観察を行い、イノー観察時の生き物について解説を行った。
62 花卉園芸I（講義）	6月10日	浦添市中央公民館 研究第二課 宮里 政智	60	ラン科植物を中心に、植物の多様性及び保護の重要性等について解説した。
63 屋良子夢スクールにおける水族館飼育員の仕事についての講演	6月22日	屋良小学校 経営企画課 伊芸、 普及開発課 永田	60	水族館飼育員の仕事内容について紹介し、併せて、イノーで見られる生き物の解説、イノー観察時のポイントや注意等を解説した。
64 やんばるの生態を学ぼう	6月28日	名護青少年の家 研究第二課 阿部 篤志	26	沖縄（特にやんばるの森）をとりまく地史・気候・島嶼の環境をはじめ、様々な生態系（砂浜、海甲、低地、溪流沿い、山地等）で生育する多様な植物の紹介、分布に特徴（固有・隔離・北限・南限）のある植物、沖縄の絶滅危惧植物、新産地と新種等をスライドで紹介した。さらに、名護岳で野外観察を行い、植物の名前や利用、森林の生態系などについて解説した。
65 海の生き物環境学習会	7月18日	松田小学校 普及開発課 前田・鈴木	92	海岸の生き物について砂浜の漂着物についても触れながら紹介したほか、ウミガメと海の危険生物について解説を行った。
66 名桜大学中学生宿泊研修プログラムにおける講演	8月19日	総合研究センター 経営企画課 小野 英彦	17	水族館飼育員の仕事内容について、やりがいや失敗談など、実体験を交えながら紹介した。
67 夏休み教室 ヤシの葉を用いた草玩具づくり	8月21日	総合研究センター 普及開発課職員	21	沖縄の伝統的な工作物であるヤシの葉を用いた草玩具の作り方を解説し、身近な自然素材を使用して玩具ができることを紹介した。
68 ジョブシャドウイングにおける企業人講話	8月26日	名護小学校 研究第一課 植田 啓一	106	スライドや動画を用いて水族館獣医の仕事内容が一般的な獣医師の仕事とは異なることや仕事のやりがいなどについて紹介した。
69 生き物大移動展でのウミガメに関する講演	8月29日	名護博物館 研究第二課 河津勲	25	「沖縄のウミガメへこまでわかった繁殖と回遊～」と題し、沖縄県内で見られるウミガメの生態などの特徴や、調査研究により分かった繁殖と回遊に関する解説を行なった。
70 神戸国際大学リハビリテーション活動演習プログラムにおける講演	9月9日	海洋博公園沖縄美ら海水族館 、総合研究センター 研究第一課 植田 啓一	31	水族館獣医師の役割や仕事内容のほか、イルカの人工尾びれに関するリハビリ過程について紹介した。
71 生き物大移動展でのザトウクジラに関する講演	9月25日	名護博物館 研究第一課 岡部晴菜	23	沖縄で見られるザトウクジラの生態などの特徴や現状について紹介した。
72 ジェネシス短期招聘ラオス国代表団受け入れに係る講義	9月29日	総合研究センター 研究第一課 佐藤圭一	23	水族館の社会公園に関する取組やボランティア活動を含む地域とのつながりに関する講義
73 名護中学校進路学習会における職業に関する講演	9月30日	名護中学校 研究第一課 植田 啓一	187	水族館の獣医師の仕事内容などについてスライドを用いて紹介した。
74 花卉園芸II（実習）	10月21日	海洋博公園 都市緑化植物園 研究第二課 宮里 政智	60	ラン類の蒔き鉢への植え込み実習などを行ない、栽培管理方法等を講義した。また、ラン類の樹木等への着生方法の解説、県内ラン愛好家のランの栽培状況を紹介した。
75 とわの森三愛高校の研修における実習および講演	10月8日	沖縄美ら海水族館 、総合研究センター 研究第一課 植田・岡	19	獣医学進学コースの生徒を対象に、魚類の解剖実習や水族館獣医師の仕事内容、生き物への獣術事例などを紹介した。
76 本部小学校「サイエンスクラブ」における環境学習	10月14日	本部小学校 普及開発課 鈴木・前田	16	有孔虫の生態や生息環境などを解説し、形態観察の実験を行った。
77 夢へのバトン（保護者・社会人による職業紹介講演）に係る進路講演会	10月22日	興南高校 研究第一課 岡慎一郎	40	仕事内容やその仕事を選んだ理由など職業紹介に関する講演を行った。
78 総合的な学習（キャリア教育）「世界に一つだけのドリームリーを作ろう」	10月23日	名護小学校 研究第一課 植田 啓一	125	スライドや動画を用いて水族館獣医の仕事内容が一般的な獣医師の仕事とは異なること、具体的な動物の処置事例やその際の作業の様子などについて紹介した。
79 「就職のための講演会-社会人からのメッセージ」での講演	11月6日	宮崎大学 研究第一課 宮本圭	20	宮崎大学農学部の卒業生が後輩たちに就活に向けたアドバイスやメールを送る講演として、通常業務や就活体験について講演を行った。
80 名護市屋我地済井出地区における子どもたちとの環境学習とグリーンベルト植栽活動に係る講演	11月8日	済井出公民館、屋我地小学校 普及開発課 前田好美	21	ウミガメの生態や環境問題に関する解説のほか、標本や生体を用いた形態観察を行った。
81 2014年度館員学術大会公開講座「命をつなぐシンポジウム」における基調講演	11月16日	東北大学百年記念会館 研究第一課 植田 啓一	60	「命をつなぐ活動」を講演テーマとし、水族館獣医師の仕事内容などについて講演した。
82 韓国・済州大学の専門アカリスト養成課程における教育実習の受け入れ	11月20日～21日	総合研究センター 研究第一課 佐藤圭一	8	海外現場教育を通し専門的な人材の養成を目指す「韓国済州大学のアカリスト養成教育実習」にて、水族館の飼育員の仕事や海洋生物についての講演を行った。
83 国際海洋環境情報センター（GODAC）一般公開に際し、深海生物標本の展示及び解説	11月23日	名護市国際海洋環境情報センター 研究第一課 佐藤圭一	1,332	海洋生物などの標本展示および解説ブースを出展し、解説を行った。（深海ザメ類・魚類・甲殻類の液浸標本・プラスチックなど10点）
84 第25回日本ウミガメ会議 出前講座	11月28日	屋仁小学校 研究第一課 河津勲	16	ウミガメの生態や生息などの特徴、産卵場所の環境などについて解説した。
85 海の生き物学習会	11月29日	普天閣第二小学校 普及開発課 前田好美	170	リクガメとウミガメの違い、なぜ産卵の時にウミガメは泣くのかなどのほか、ウミガメの幼体を用いて種判別の方法について解説した。
86 平成26年度第二回沖縄市花いっぱい推進運動に伴う草花に関する講習会「沖縄に育つ花木類と草花の寄せ植え教室」	12月5日	コザ運動公園 研究第二課 宮里 政智	35	沖縄にみられる熱帯亜熱帯の花や木の紹介や草花を使った寄せ植え栽培などについて解説を行った。また、実際に寄せ植え体験も実施した。
87 平成26年度「就職セミナー」企業紹介における講演	12月10日	琉球大学 研究第一課 岡慎一郎	30	野外調査や体力勝負となる業務内容や就職に至った経緯を紹介した。
88 「専門演習 ガスティーチャー（環境教育に関する授業）」の講師	1月20日	沖縄大学 研究第一課 山本広美	15	サンゴとサンゴ礁生態系の基礎的な知識およびその保全の重要性について講演した。
89 道徳 ガスティーチャー（自然と環境問題に関する授業）	2月26日	水納小学校 研究第一課 山本広美	6	自然環境、特にサンゴ礁を通して日常生活における自分の行動が、地域や地球規模の問題と深く関係していることを紹介し、沖縄の自然環境の特徴とそれが直面している問題点について解説した。
90 わたしたちの海をかたちにするサンゴ礁保全再生事業シンポジウム	2月28日	沖縄県立博物館・美術館 研究第一課 山本広美	100	リレートーク「様々な海との関わり紹介」およびワークショップ「海と関わるきっかけ紹介」を行った。
91 ランの栽培講習会（基礎編）	3月21日	那覇市緑化センター 研究第二課 宮里 政智	53	ランの形態的特徴や多様性について実物を用いながら解説を行った。

海洋博公園内開催教室 開催結果

事業名称	実施日	会場	参加人数	内容
92 魚の赤ちゃんの世界	5月17日	美ら海プラザ	36	魚の仔稚魚についてスライド等を用いて解説を行った。
93 海の危険生物	6月14日	美ら海プラザ	53	海の危険生物についてスライド等を用いて解説を行った。
94 サンゴの秘密を探る	6月28日	美ら海プラザ	45	造礁サンゴについてスライド等を用いて解説を行った。
95 沖縄のウミガメ	7月6日	美ら海プラザ	61	ウミガメについてスライド等を用いて解説を行った。
96 マンタの秘密を探る	8月9日	美ら海プラザ	55	マンタについてスライド等を用いて解説を行った。
97 南西諸島のクジラたち3 ～小さな小さなマッコウクジラたち～	8月16日	美ら海プラザ	38	マッコウクジラについてスライド等を用いて解説を行った。
98 エビ・カニの秘密を探る	9月13日	美ら海プラザ	44	エビやカニの甲殻類についてスライド等を用いて解説を行った。
99 ヤシガニ学習会	10月18日	美ら海プラザ	47	ヤシガニについてスライド等を用いて解説を行った。
100 魚の体のしくみ	11月15日	美ら海プラザ	47	魚の体の仕組みについてスライド等を用いて解説を行った。
101 鯨類 沖縄のザトウクジラ	12月13日	美ら海プラザ	60	ザトウクジラについてスライド等を用いて解説を行った。
102 サメの秘密を探る ～ミツクリザメについて～	1月31日	美ら海プラザ	50	ミツクリザメについてスライド等を用いて解説を行った。
103 沖縄の深海生物	3月14日	美ら海プラザ	46	沖縄の深海生物についてスライド等を用いて解説を行った。
104 コシダクラフト	5月24日	熱帯ドリームセンター	21	材料となるコシダを実際に見てもらいながら植物としての特徴を紹介し、作製手順、ポイント、採集するときの注意事項を説明した。参加者にクベストリー、一輪挿しの中から作りやすい作品を1点選んでもらい、それぞれがテキストのつくり方を参考にしたり、自身のアイデアを取り入れて作製した。
105 ヤシの葉で遊ぼう	6月14日	熱帯ドリームセンター	31	材料となる2種類のヤシの葉の観察を通して植物としての特徴を紹介し、沖縄での方言名や活用方法、採集した後の処理について説明した。次に参加者に作りやすい作品を選んでもらい、それぞれがテキストのつくり方を参考にしたり、スタッフにアドバイスを求めながら作製した。
106 木の実でアクセサリ作り	11月8日	熱帯ドリームセンター	32	材料となる木の葉や種子の紹介、作成の手順と注意事項を説明した。次に参加者にストラップ、ブローチなどの見本の中から作りやすいアクセサリを選んでもらい、それぞれが見本を基本にしながらも自身のアイデアを取り入れて作成した。
107 植物の型押し染め	11月22日	熱帯ドリームセンター	35	材料となる植物の種類とそれらの断面の形状についての説明を行い、次に作品を紹介しながら作製手順についての説明を行った。その後、参加者それぞれが作品を作製した。
108 こども風～カープヤークをつくろう～	12月21日	熱帯ドリームセンター	36	材料の説明を行い、次に作製のデモンストレーションを行った。その後、参加者各々が好きな風船を選び、実際に風を作製した。作製後には希望者を対象にして夕日の広場で風揚げを行い、空高くに揚がる風を見て歓声を上げていた。
109 ススキのほうきをつくろう	2月28日	熱帯ドリームセンター	26	ススキの穂、紙ひも等、材料の説明を行い、次にデモンストレーションをしながら“ほうき”の作製手順を解説した。その後、参加者それぞれが作品を作製した。
110 海藻おしぼアートをつくろう	3月14日	熱帯ドリームセンター	21	海藻おしぼ作製の前に、スライドを用いて海藻類の種類や特徴など、基本的な知識について講義を行った後、講師が実際に海藻おしぼの作り方の実演を行った。参加者が作った作品は吸水紙に挟んだ状態で持ち帰って頂いた。今回は乾燥以降の工程を各自で行うため、乾燥後の処理についても説明を行った。
111 ボタニカル写真撮影講座～熱帯ドリームセンターで思い出の写真を撮ろう～	9月13日	熱帯ドリームセンター	25	河野 哲舟氏を講師として招聘し、カメラの基本設定や操作方法、撮影方法、構図の取り方、撮影データの保存のメリットなどについての講演を行った後、熱帯ドリームセンターの植物を被写体として実際に撮影するなどの撮影実習を行った。
112 亜熱帯緑化事例発表会	9月26日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	84	緑化技術に関する発表3件、緑化事例に関する発表4件の発表があった。発表会では、審査員5名による審査を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を選出した。発表会終了後には、参加者全員に感謝状と記念品を贈呈した。講演会については国土交通省 都市局 公園緑地・景観課緑地環境室の町田 誠氏を招聘し「公園・緑のこれからの政策を考える」についてお話し頂いた。
113 美ら島自然教室「公園の野鳥観察会」	3月7日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園、夕陽の広場、おきなわ郷土村周辺ほか	33	参加者にワークシートを配布し、講師の富原雄二氏による解説で公園内に散策しながら野鳥の観察会を実施した。観察会中に沖縄の野鳥とその他の生物との関わりや、野鳥同士の関係、習性、分類とその変化（近年、分子レベルの研究の進展により、内地との共通種と見られていた種を沖縄固有種として見る見方が広がっている。）について掘り下げた内容をわかりやすく解説した。
114 美ら島自然教室「沖縄のカブトムシ・クワガタの秘密を探る」	8月9日 (1回) 8月23日 (2回)	熱帯ドリームセンター 無料休憩所	142	スライドを用いて沖縄のカブトムシ・クワガタの種類、体のつくり、独自の進化、暮らし、生物季節、植物との関わり、環境問題、採し方等を解説していただいた。また講義を聴きながら、標本を用いた観察や切り紙クラフト体験、ミニクイズを行い、形態の特徴を学んでもらった。
115 ラン類に関する講演会「まだまだある！沖縄で育つ世界のラン」	10月17日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 植物管理センター視聴覚室	74	沖縄県では未だ普及していないが、沖縄の環境に適した栽培しやすいランがたくさん存在する。本講演会では、ラン専門家の唐澤博司氏（財団顧問）を招聘し、緑化に従事する行政、造園業、ラン愛好家及び一般の方々を対象に、沖縄で栽培しやすいランについて写真や一部実物を用意して紹介した。また、実施に当たっては熱帯ドリームセンターにて同時開催予定の「秋の県内愛好家自慢の蘭展」や「沖縄のラン切花展」との連携を図り、熱帯ドリームセンターの誘客促進へ繋げた。
116 沖縄の樹木剪定講習会	10月24日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 植物管理センター視聴覚室、パンコの森	77	山本紀久氏を講師として招聘し、沖縄で植栽されている樹木の基礎的な知識及び剪定方法・樹形の作り方を座学で学び、屋外においてはコパティン、ガジュマルの実技指導による剪定方法を学んだ。
117 カンヒザクラに関する講演会	1月30日	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 植物管理センター視聴覚室	117	サクラ分類及び園芸学の研究者、富山県中央植物園の大原隆明氏をお招きして講演会を開催した。今回の講演会では、カンヒザクラやリュウキュウカンヒザクラの系統分類や分析、形態などの基礎知識をはじめ、園芸的な利用価値、栽培管理の方法、行政や地域、学校の取り組み事例などについて紹介していただいた。

(計) 1,336